

会 議 録

会議名 (審議会等名)	令和6年度 第1回新磯公民館運営協議会		
事務局 (担当課)	生涯学習部 新磯公民館 電話 046-256-1900		
開催日時	令和6年6月26日(水曜日) 午後7時00分～9時30分		
開催場所	新磯公民館 2階 大会議室		
出席者	委員	20人(別紙のとおり)	
	その他	0人	
	事務局	4人(館長代理 他3人)	
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	1 開 会 2 委員の委嘱及び会長あいさつ 3 公民館の概要 4 議題及び報告等 (1) 令和6年度新磯公民館の現状と事業計画について (2) 新磯公民館第三次振興計画策定に係る委員会の設置(案)について (3) 新磯公民館表彰規定に基づく被表彰者選考委員会の委員について (4) 自主企画提案事業について 5 情報交換 6 運営協議会委員研修 研修テーマ:「公民館 つどう・まなぶ・むすぶ」 7 閉 会		

協 議 経 過

主な内容は次のとおり（○は委員の発言、●は事務局等の発言）

1 開会

館長代理が開会宣言。

2 委員の委嘱及び会長あいさつ

新規委員6名に委嘱状を交付した。

名簿案（役職付き）について、承認された。

全員の自己紹介の後、内田会長（館長）があいさつを行った。

- ・委員の皆様のご指導をいただき、地域に親しまれる公民館運営をしていきたい。議題についてご審議お願いしたい。また、今回は研修も予定している。地域の公民館としての役割など学ぶ機会としたい。

3 公民館の概要

館長代理から、職員体制、運営組織等について説明があった。

4 議題等

内田会長の進行により会議が進められた。

(1) 令和5年度新磯公民館の現状と事業計画について

館長代理から、最近の公民館運営状況、利用団体、減免団体等について説明があった。

内田会長（館長）から、今年度のレクリエーション大会についての報告。体育部や自治会とも協議をしながら、内容を改め、実施に向け調整してきたが、今年度は中止の判断をした。

○事業計画について、公民館まつりの実施は例年の3月ではなく2月中旬か。

●地域のイベントなどが重なることや、年間を通して大きな事業のバランスを取る形で2月の実施に向け計画している。

○免除団体について、地域団体と登録団体と表記が分かれているが何が異なるのか？

●地域団体は新磯地域の関連団体、登録団体は新磯だけに限らず免除の条件に適った団体。

○公民館の利用について、和太鼓は使用できるが、金管楽器はNGというのは、今後も変わらないか。

●利用協などで意見が出た場合に協議していく必要があると思われるが、現状変更はなし。

(2) 新磯公民館第三次振興計画策定に係る委員会の設置(案)について館長代理が説明及び提案をし、承認された。

(3) 新磯公民館表彰規定に基づく被表彰者選考委員会の委員について館長代理が説明をした。昨年度は8名を表彰している。

(4) 自主企画提案事業について

館長代理が説明をした。昨年度は3件実施し、いずれもサークル化している。現在2件の申請があり。

5 情報交換

○前回お願いしたポリオワクチン寄付に係るペットボトルの回収について、農協だけでは少ない現状がある。公民館に回収箱を設置していただけたら、SDGs運動が広がるので協力してもらえないか、回収は定期的に行うことができる。

●公民館として前向きに検討したい。

○小学校では、4年生が一年間かけて地域の方がどれだけ子どものために関わっているかを学習する。前半の部分で、公民館で勉強の機会をお願いしている。

○学校の運営について、日頃から協力・支援に感謝している。

○PTAでは、夏休み前の7月7日(日)に赤旗設置を行い、子どもたちに川の危険性を呼び掛けていくが、地域の方にもご協力をお願いしたい。

○1月に実施する事業(趣味の講座ポーセラーツ)について、文化部としては初の中学生以上を対象としている。周知の際には、ご協力をお願いしたい。

6 運営協議会委員研修

研修テーマ:「公民館 つどう・まなぶ・むすぶ」

館長から講師を紹介、講師は白石卓之(たかし)氏、遠藤誠氏。

<研修内容>

- ・公民館の歴史的背景、相模原の公民館、先進公民館事例
- ・公民館運営協議会の役割、振興計画の意味、地域で公民館ができること

7 閉会

内田会長から、本日の研修を振興計画策定に活かしていきたい、とあいさつ。

野崎副会長から、お二人の話において“場を作ること”が共通であった。

自治会でも痛感していることが多い。人を頼る、つながりの中で生かされていることの大事さを再認識した。どの会議に出てもメンバーがあまり変わらずどうかと思っていたが、見方を変えることで、互いの交流を深めるチャンスであることに気づかされた。あいさつの後、閉会宣言があった。

新磯公民館運営協議会委員出欠席名簿

敬称略、順不同

No	氏 名	役 職 等	出席
1	内田 耕一	新磯公民館 館長	出
2	野崎 雅利	新磯地区自治会連合会 副会長	出
3	佐々木 隆	新磯小学校 校長	出
4	前島 利広	相陽中学校 副校長	出
5	太田 翔平	新磯小学校PTA 会長	出
6	島田 大輔	相陽中学校PTA 会長	欠
7	中村 まり	地区子ども会育成連絡協議会 副会長	出
8	山口 和夫	地区社会福祉協議会 会長	欠
9	佐田 昌史	地区民生委員児童委員協議会 会長	出
10	金野 みどり	女性団体代表	出
11	荒井 優子	新磯観光協会 会長	欠
12	磯崎 守志	地区老人クラブ連合 副会長	出
13	藤野 互由	新磯商盛会 会長	出
14	難波 稔	公民館文化部 部長	出
15	富田 清重	公民館体育部 部長	出
16	日下部 洋吏	公民館青少年部 部長	出
17	比嘉 敏恵	公民館健康元気部 部長	出
18	早川 美幸	公民館広報部 部長	出
19	川島 泉	公民館利用団体協議会 役員	出
20	早田 栄	新磯地域包括支援センター センター長	出
21	守屋 樹	新磯こどもセンター 館長	出
22	曾我 幸央	相模原南児童ホーム 所長	欠
23	太下 なおみ	公募委員	出
24	幟川 泰夫	学識経験者	出